

1. レジ袋削減への取組の概要

- 和歌山市を含め、事業者、消費者団体、行政（和歌山県と県内 30 市町村）等で形成する「わかやまノーレジ袋推進協議会」で、レジ袋の削減に向け、声かけ運動や街頭啓発を行っている。

2. レジ袋有料化への取組の検討状況について

- 関係者の役割は以下のとおりである。（※和歌山市はわかやまノーレジ袋推進協議会会員としてレジ袋削減の取組を行っているため、以下に示すのは協議会の方針である。）

主体	取組
実施事業者	<ul style="list-style-type: none"> レジ袋の削減に向け様々な手法の取組を実施 マイバッグ持参の促進 レジ袋収益金の環境保護活動や地域貢献活動などへの還元（ある場合のみ）
市民団体	<ul style="list-style-type: none"> マイバッグ持参の実行 レジ袋削減に向けたPR等の普及啓発 事業者のレジ袋削減取組へ協力
県・市町村	<ul style="list-style-type: none"> レジ袋削減に向けたPR等積極的な普及啓発 参画する事業者等の拡大 事業者のレジ袋削減の取組の積極的支援
賛同事業者	<ul style="list-style-type: none"> レジ袋削減に向けたPR等普及啓発への協力 協議会の取組を支援

- レジ袋辞退率の目標は、無料配布中止が 80%、ポイント付与・割引、声かけ運動等 20% である。

3. 環境負荷の少ない素材を利用したレジ袋やロール状ビニル袋の利用の促進について

- 多少の利用制限は必要であると考えられるが、強制力を持つ利用規制は不要である。

4. コンビニエンスストアやドラッグストア等の巻き込みに関する考え

- 付与する内容や表彰制度の内容にもよるが、レジ袋削減の取組が進展するのであれば導入は良いと思うが、必要性は感じていない。

5. 全国で統一した取組と調整の必要性

- ・ 全国的で統一した取組の必要性はあると思うが、地域の現状や地域独自に取り組んでいる内容等も踏まえた上で、取組と調整を行う必要がある。

6. ライフスタイルの見直しに向け、国から消費者や業界団体への働きかけの必要性

- ・ 国からの働きかけを行う必要はあると思われるが、レジ袋の削減を行うことの利点や、レジ袋の削減と環境問題についてどのような関わりがあるのかを明確にした上で、行っていただきたい。